

万協製薬株式会社

経営品質を高める取り組みと地域・社会への貢献

おもてなし経営のポイント

- ❖ さまざまな仕組み、仕掛けによる高い社員満足度
- ❖ 社会貢献への高い意識と地域活性化への貢献



多気郡
三重県

経営理念と企業文化

万協製薬株式会社は、三重県多気郡多気町に本社および工場を持つ、外用薬専門の受託メーカーである。1960年に外用薬の製造工場として兵庫県神戸市で設立したが、95年の阪神・淡路大震災によって神戸工場は全壊。翌96年に現在地に本社と工場を移転した。その際、スキンケア製品の製造に特化したラインづくりを行なったため、あらゆる形態の商品製造を受託することが可能となった。代表取締役社長の松浦信男氏は、2003年から日本経営品質賞に挑戦し始め、さまざまな取り組みの末、09年度日本経営品質賞(中小規模部門)を受賞した。

万協製薬では、企業理念を「バンキョー・クレド」と呼んでいる。バンキョー・クレドは上位の階層(社会)から下位の階層(個人)への流れでつぐられ、会社の理念と自分の行動の

関係性が理解しやすくなっている。各作業場、通路、食堂に掲示したり、毎日の朝礼で唱和するだけでなく、毎年行なわれる社員アンケートによって、その浸透度をはかられている。11年度のアンケート結果は93.4%。非常に高い浸透度となっている。

同社では、お互いの業務内容を理解し合うために、積極的にジョブローテーションが行なわれる。これによって、次工程のことを考えられるようになるのだ。提案書を書くことも奨励しており、「社長直行便」に書いて送ると必ず500円がもらえる制度もある。さらには、異なる部署から4人ずつ集まり、疑似家族として活動する「プチコミファミリー」もユニークだ。組織横断的に人間関係を築くもので、食事なら1人3,000円など補助金も出る。海外への社員旅行もプチコミファミリー単位。メンバーは毎年、シャッフルする。

松浦氏は「会社とは、お金という物差しを持ちながら、会社の中にある

社会(パブリック)貢献の考え方を、1ミリでも伸ばそうとする活動のことを言う」と語る。周辺地域の清掃活動だけでなく、本業でも地元の商工会などと企画開発を行ない、地域貢献ブランドの化粧品をつくり、地域活性化の一端を担っている。また、社長自身が三重県の経営品質協議会の広報を担当するなど、地域産業への取り組み、貢献も積極的に行なっている。

講演者紹介



万協製薬株式会社
代表取締役社長

松浦 信男氏

1982年万協製薬株式会社に入社。84年に徳島文理大学薬学部に入社、88年、卒業と同時に復職。95年東洋漢方製薬株式会社代表取締役社長就任。96年万協製薬代表取締役社長就任。12年三重大学医学部大学院博士課程卒業。万協製薬は、第6回「男女がいきいきと働いている企業」において選考委員会奨励賞、第7回において知事表彰のほか、08年三重県経営品質知事賞、09年日本経営品質賞を受賞。さらに、11年には第9回日本環境経営大賞環境経営優秀賞、地域思いビジネス共感大賞・奨励賞を受賞している。

会社概要

- ・法人名:万協製薬株式会社
- ・代表者:松浦 信男 代表取締役社長
- ・所在地:三重県多気郡多気町五桂1169-142
- ・設立年月:1960年3月設立

- ・事業内容:
外用薬(クリーム剤、軟膏剤、液剤) 専門の受託メーカー
- ・社員数:正規67名、パート・アルバイトなど19名
- ・ホームページ:<http://www.bankyo.com/>